

2025年3月

UMGCブリッジプログラム体験談

新藤順子（50代）

ブリッジプログラムを受講していた1年2ヶ月の間はまさに英語漬けの日々でした。子供の頃から英語が好きで、40年近く前に短大の英語英文科へ進みました。その後、夫の駐在で8年程アメリカに暮らしましたが、なお、中級レベルで止まっている英語力をどうにかしたいと常に考えていました。子育てもひと段落し挑戦するなら今しかないというブリッジプログラムの受講を決めました。

ブリッジプログラム受講開始の少し前にオフィスからメールが来ました。セメスター（学期）が始まる前の手続きについてです。英語の書類がいくつも送られて来て、それらを読み、また送り返し、と、全て英語でのやり取りに、これから始まる日々を想像し身の引き締まる思いがしました。

最初のセメスターは先生を含め、全員がzoomで参加をするという授業形式でした。なんと先生は佐世保から参加されていました。まず驚いたのが、準備にかかる時間と出される課題の多さでした。とても興味深い内容のテキストだったので、じっくり読み考えたいところでしたが、授業の進むスピードが早く、つ

いていだけ精一杯でした。準備の他、課題も多く、納得のいくレベルに仕上げるためには多くの時間を割く必要がありました。課題にはプレゼンも含まれており、クラスメートとグループを作り三つ程のプレゼンを作成しました。zoomでのプレゼンなど、それまでの自分では全く想像できなかった世界ですが、若いクラスメート達のおかげでどうにかクリアできました。

二番目のセメスターからは対面の授業となり、より大学の授業に近くなったと嬉しく思いました。このセメスターの先生はとても熱心な指導をなさる経験豊かな方で多くの事を学びましたが、中でもCritical thinking という考え方がどのようなものかを知る事ができました。Critical thinkingは日本ではあまり馴染みのないものですがアメリカ社会では必須の考え方なのだと実感しました。また、その事をダイレクトに体験できる事に心が躍りました。

三番目のセメスターではWriting の準備が始まりましたが、あやふやな知識しかないものを英語で説明するのはとても難しい事でした。その結果、知識を深めるために資料を読む事が多くなりました。始めは日本語で書かれたものを読んでいたのですが、英語で書かれたものの方が自分で文章にする時の参考になると分かり、英文を読む機会が増えていきました。また、このクラスからはハイ

ブリッドという形態となり、沖縄と岩国、そしてつくばから参加するクラスメートと共に勉強する事となりました。

四つ目からは Writing のクラスとなり、セメスターのゴールは 800 word の Academic writing を書く事でした。しかしこのクラスの先生もとても経験豊かな方で、授業の内容、個々の課題の積み重ねで Academic writing を仕上げられるように導いてくれました。このセメスターの最初の課題に Core value について書くというものがあり、初めて Core value というものを知りました。自分の核となるものを探る、という事ですが、これまでの自分を振り返るよい機会となりました。しかもそれを英語で表現する事で自分でも思ってもみなかった感情が出てきて、何とも言えない興味深いものとなりました。二つの言語を持つ醍醐味を味わえた気がしました。

Writing の二つ目のセメスターでは、設定された条件を満たし（引用する学術論文の数、引用の形、論文のWord数、等）、Academic writing としての形式を成し、そして読む人を惹きつけるEssay を書くという、アメリカの大学での基本となるWriting を徹底的に学びました。こうしていくつものAcademic writing を書き、そのための英文の資料を読み込み、先生にももちろん英語で質

間をし、と気がつけば英語で成り立っている世界の端っこに立つ事ができていました。

私にとって最後のセメスターは選択科目のスピーチでしたが、この頃体調を崩す事が多かったため対面のクラスには2回しか参加できず、あとは全部zoomにての参加でした。それでも四つのスピーチの課題を提出でき、（先生の講義を集中して聴いたために）リスニング力も向上し、結果的には納得のいくものとなったと思います。

ブリッジプログラムについて簡潔にまとめるつもりで書き始めましたが、学んだ事や感じた事が多過ぎて、このような形の体験談となってしまいました。これから受講を考えている方々にお伝えしたいのは、ブリッジプログラムでの体験は簡単には言い表すことなどできない濃密でそしてエキサイティングなものということです。これからあの時間を過ごす事のできるみなさんがとてもうらやましいです。できるならもう一度あの世界に飛び込んでみたい！みなさんのご健闘をお祈りしています！